

踏台

取扱説明書



このたびは本製品を、お買い上げいただきまして ありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。

で使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読み

いただき、事故が起こらないよう、内容に したがって正しくお使いください。

また、お読みになった後も、この取扱説明書を すぐに取り出せる所へ**大切に保存**してください。



- ●踏台は、正しく使われていないと転倒や 転落の危険があります。お使いになる ときは、踏台の安定した状態を確認して ください。
- ●踏台は、昇降面の左右方向に転倒しや すいので、十分注意してお使いください。
- ●この取扱説明書に書かれた使いかた 以外の使用方法や注意事項を守らずに、 事故を起こされても責任を負いかね ますのでご了承ください。

もくじ

秋がく フについて	
各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
安全のために、必ず守っていただきたいこと・・・・	3
ご使用前の点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
踏台の使いかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
1.設置場所について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
2.開閉のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
3.昇りかた・降りかた・作業のしかた・・・・・・・	12
使用後のお手入れと保管のしかた・・・・・・・・・・・・	13
1.お手入れのしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
2.保管のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
「故障かな?」と思ったら(不調診断)··········	14

表示マークについて

⚠危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や 重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを 示します。

⚠ 警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。

企注意

記載されている内容を守らなければ、けがや 製品が破損する恐れがあることを示します。 ※破損したままで使用しますと、転倒や転落に よる傷害事故の原因になります。



禁止

このマークは、禁止(してはいけないこと)を 示します。



このマークは、強制(必ずすること)を示します。

〈絵表示について〉

警告表示の要点が一目で理解できるように、 警告ラベルの中で絵表示を使用しています。 絵表示には下記の意味があります。



感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れる と感電して危険であることを示します。

可動部や回転部で 手をはさまないよう注意

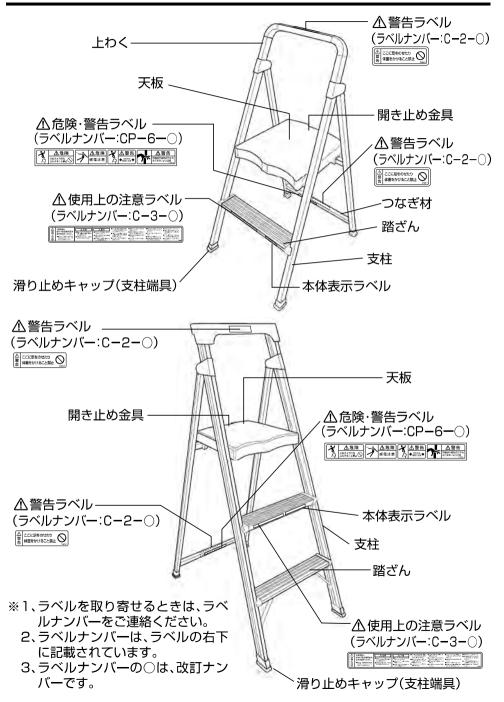
製品を操作するときに、可動部や回転部などで 手をはさむ恐れがあることを示します。

天板の上で爪先立ち ふ すること禁止

天板の上で爪先立ちすると、身体のバランスをくずして、転倒する危険があることを示します。

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがある ことを示します。

各部のなまえ



安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らな いと、死亡や重大な事故、製品の破損が 生じる恐れがあります。

1.使用条件について

↑ 警告 踏台としての用途以外の 使いかたをしないでくだ さい。

この製品は、高い所で作業するための足場と して作られた「踏台」です。使いかたを誤ったり、 用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落に よる重大な事故の恐れがあります。

↑ 警告 この製品は、本体表示ラベル での最大使用質量の範囲 内で使用してください。

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を 超えるときは、使用しないでください。 また、荷物はバランスが保てる程度の 大きさや重さにしてください。

↑ 警告 踏台を加工や改造しないで ください。

重大な事故を起こす恐れがあります。

お子様や取扱説明書・警告 ラベルの内容が理解でき ない人には、使わせないで ください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、 安全に使用する上で特に重要なことが書 かれていますので、内容が理解できない 人が使うと、重大な事故につながる恐れ があります。

▲ 注意 身体が下記の状態のときは、 使わないでください。



- ●疲れているとき
- ●薬やお洒を飲んだとき
- ●病気や妊娠しているとき
- ●身体に異常を感じるとき

身体のバランスが保てず、転倒や転落の 恐れがあります。



∧ 注章 使用に適した服装で使って ください。



ロングスカート・エプロン・マフラーなど、 昇り降りや作業中に、製品に引っ掛かったり、 すそを踏みつける恐れのある服装で使用 しないでください。



↑ 注意 スリッパやナイロン製の 靴下など、滑りやすい物は 脱いでください。



滑りやすい物をはいていますと、足を滑ら せて転倒や転落の恐れがあります。



↑ 注意 貼りつけてあるラベルが 無くなったり、読めなく なった製品は使わないで ください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、 正しい位置に貼り、内容を理解してから 使ってください。

※ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナン バー (2ページを参照)をご連絡ください。

↑ 注意 この製品を人に貸すときは、 取扱説明書も共に貸し 出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重 要なことが書かれていますので、よくご理 解のうえ、使うように指導してください。

2.ご使用になる前に



↑ 警告 使う前には、必ず「ご使用 前の点検(9ページを参照)| を行い、異常のないことを 確認してください。

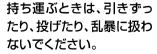
異常のあるときは、絶対に使わないでくだ さい。重大な事故につながる恐れがあります。



変形した踏台を使わないで ください。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ 材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下 します。したがって、変形した製品を修理して 使いますと、容易に折れたり曲がったりして、 重大な事故の原因になります。

3.運ぶときは



乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因に なります。

4.設置する場所について



⚠️ 食障 設置するときや持ち運ぶ ときは、配電線や電源コー ドなどに引っ掛けないよう に注意してください。



この製品は電気を通しますので、 感電による重大な事故につなが る危険があります。

↑ 警告 踏台が滑りやすい場所には、 設置しないでください。



設置場所が下記の状態では、踏台が傾いて 転倒や転落の恐れがあります。

- ●滑りやすいビニール製の床·タイル・ 鉄板の上。
- ●濡れている場所。
- ●積雪や凍結している場所。
- ●砂・ごみ・ほこり・落葉などで滑りやすい 場所。
- ●その他、滑りやすい場所。



♪ 警告 踏台が安定しない場所には、 設置しないでください。



設置場所が下記の状態では、踏台が傾いて 転倒や転落の恐れがあります。

- ●やわらかい床(じゅうたんなど)や地面。
- ●段差があったり、凹凸があって安定しない 場所。
- ●踏台がガタツク場所。
- ●傾斜している地面や 床、屋根の上。



雨の中や風の強い場所には、 設置しないでください。

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて 身体のバランスをくずして、転倒や転落の 恐れがあります。

↑ 警告 足元や周囲がはっきり 見えない暗がりには、設置 しないでください。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に 気付かないことが原因で、転倒や転落の 恐れがあります。

↑ 警告 人の出入口やドアの前には、 設置しないでください。



出入りする人や開けたドアで、踏台が倒 されて転倒や転落の恐れがあります。



⚠注意 周囲に危険なものがある 場所や、頭上に障害物の ある場所には設置しないで ください。

転倒や転落の恐れがあります。



5.開閉するとき

↑ 警告 踏台を完全に開き、開き止め 金具(開き止め装置)を 確実にロックしてください。



開き止め金具(開き止め装置)のロックが 不十分で使うと、脚が開閉し、転倒や転落 の恐れがあります。



▲ 警告



踏台を開閉するときに、可動 部や回転部などで、手をはさ まないように注意してくだ さい。

けがをする恐れがあります。





6.設置するとき

↑ 警告 踏台を高くするために、踏台 にパイプや木などをつない だり、台や箱の上に乗せたり しないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動など して、転倒や転落の恐れがあります。





↑ 警告 踏台を折りたたんだまま、 建物に立て掛けたり、水平 にして使わないでください。

不安定な使用のため、バランスをくずして、 転倒や転落の恐れがあります。



7 昇り降りや作業するとき

↑ 危険 天板の端に乗ったり、爪先 立ちや片足で立たないで ください。

バランスをくずして、転 倒や転落の危険があり ます。天板に乗るときは、 身体が天板の中央になる ように乗ってください。



⚠警告 踏台から身体を乗り出さ ないでください。

身体を乗り出すとバランスを くずして、転倒や転落の恐れが あります。

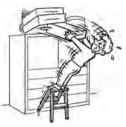


↑ 警告 天板の上で、移動しないで ください。

移動するとバランスをくずして、転倒や 転落の恐れがあります。

↑ 警告 使用中、踏台の上で壁や 物を無理に押したり、引い たりしないでください。

無理に押したり、 引いたりすると、 反動で踏台が不 安定になり、転倒 や転落の恐れが あります。



↑ 警告 同時に2人以上乗らないで ください。



踏台が不安定になり、 転倒や転落の恐れが あります。



↑ 警告 身体の安定が得られない ような荷物を持って、昇り 降りしないでください。

バランスをくずして、 転倒や転落の恐れが あります。

そのような荷物があ 👣 るときは、補助者が 荷物を手渡してくだ さい。



⚠警告 踏台を背にして、 昇り降りしない でください。

身体が不安定となり、転倒 や転落の恐れがあります。

↑ 警告 二つの踏台の間に板をかけて、 足場などに使わないでく ださい。

踏ざんなどが破損 したり、踏台が不 安定になって転倒 や転落の恐れがあ ります。

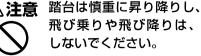


↑ 警告 上わくへ寄り掛かったり、 片足を乗せて作業しない でください。

身体のバランスを くずして、転倒や転落 の恐れがあります。 トわくは、作業者の 身体を安定させる ものです。



| 注意



傷害事故の恐れがあります。昇り降りは、 最下段の踏ざんまで使って慎重に行って ください。

ご使用前の点検

踏台をお使いになる前には、下記の点検を 行い、異常のないことを確認してください。 また、異常に対して処置のできるものは、正し い処置をした後に使用してください。

1.目で見て、下記の点検をしてください。

- ●天板や踏ざんにグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。(13ページを参照)
- ② 支柱に曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。



3 踏ざんに曲がりやへこみがありませんか。

ある場合は、**絶対に 使わない**で廃棄し てください。



- ◆ 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・磨耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ⑤ リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

⑥滑り止めキャップ(支柱端具)が外れたり、すり減ったりしていませんか。外れたり、すり減ったりしている場合は、絶対に使わないでください。必ず弊社までご相談いただき、新しい滑り止めキャップ(支柱端具)と交換してください。

2.下記の箇所を触って点検をしてください。

●天板および各段の踏ざんをねじってみて、



3.支柱を開閉して、下記の点検をしてください。

◆スムーズに開閉できますか。スムーズに 開閉できないときは、左右のヒンジ(回転 金具)に泥やセメ

ント・ごみの噛 み込みがない か点検し、 あれば取り 除いてください。



- ②開き止め金具(開き止め装置)が確実に ロックするか点検してください。確実にロックできない場合は、絶対に使わないで廃 棄してください。
- ❸左右のヒンジ(回転金具)のゆるみやガタッキがありませんか。 ガタツキがある場合は、ヒンジ(回転金具)のゆるみや外れが考えられますので、 絶対に使わないで廃棄してください。

踏台の使いかた

1.設置場所について

平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また 踏台が埋もれない場所を選んで設置して ください。

雨や水のかからない場所、強い風を受けない 場所に設置してください。

踏台の周囲に危険な物がなく、バランスの 良い作業姿勢で使える位置に設置して ください。

設置後は、踏台にガタツキがないか確認し、 ある場合は踏台の位置を移動してガタツキ を取り除いてください。

2.開閉のしかた

⚠警告

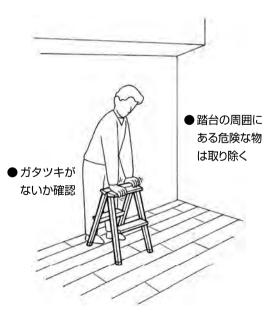


開閉は、慎重にゆっくり行ってください。乱暴にしますと、可動部や回転部などで手をはさんだり、変形や破損の原因になります。

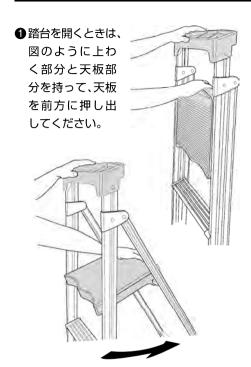
注意



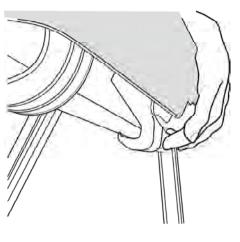
閉じるときは、開き止め金具(ロック金具・開き止め装置)のロックを確実に解除してください。解除せずに折りたたむと、変形や破損の原因になります。



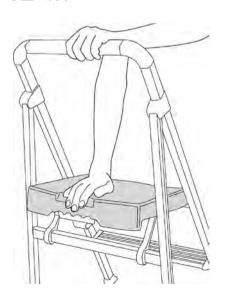
- ●平坦で安定した場所
- ●滑りにくい場所
- ●踏台が埋もれない場所
- ●雨や水のかからない場所

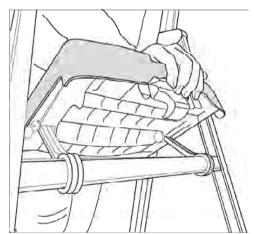


❸ 踏台を閉じるときは、天板のロック解除 レバーをにぎって、ロックを解除し、上に 持ち上げて、ゆっくりとたたんでください。



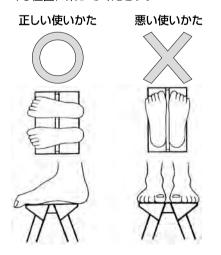
②次に、天板を上から押さえて、開き止め 装置を確実にロックしてください。



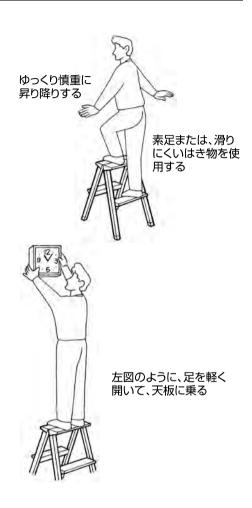


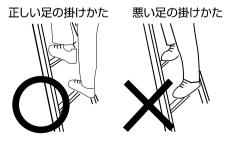
3.昇りかた・降りかた・ 作業のしかた

- 昇る前に、必ず開き止め金具(開き止め装置) が確実にロックされていることを確認して ください。
- ●屋内では素足、屋外では運動靴など滑りにくいはき物をはいてください。
- ●身体の前面を踏台の昇降面に向けて、 慎重に昇り降りしてください。
- 降りるときは、飛び降りずに1段ずつ踏ざんに 足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に 降りてください。
- ●天板の上で作業するときは、身体が踏台 から乗り出さないようにしてください。
- ●天板に乗るときは、身体が天板の中央に くる位置に乗ってください。



- 踏ざんに乗るときは、図のように足を掛けてください。
- 踏台を移動するときは、踏台から降りて移動してください。





使用後のお手入れと保管のしかた

1.お手入れのしかた

踏台にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は 大敵です。 いつもきれいにしておいてください。

〈掃除のしかた〉

- ●汚れは、濡れぞうきんなどできれいに 拭き取ってください。
- ②汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、 乾いた布で拭いてください。
- ③油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤か残らないように、きれいに拭き取ってください。

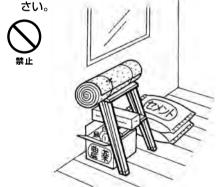
クリーナーや洗剤を付けたままにしています と腐食の原因になります。

2.保管のしかた

- ●雨や直射日光の当たらない、風通しの良い 乾燥した場所を選んで保管してください。 雨や直射日光が当たると、各部の腐食や 劣化により、強度低下の原因になります。
- ②本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

注意

- ●保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。
- ●農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでくだ



故障かな?と思ったら(不調診断)

〈現象〉●使ったときに、グラグラする。

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏ざんの接合部に、ゆるみやガタツキが ありませんか。	 ある場合は、使わないで廃棄してください。
支柱とヒンジ(回転金具)の接合部にゆるみや ガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉●設置面が水平であるのにガタガタする。

点検する箇所	処置のしかた
踏台の支柱が曲がっていませんか。 特に、下部に曲がりやねじれはありませんか。	曲がっている場合は、使わないで廃棄してく ださい。
滑り止めキャップ (支柱端具) が外れたり、すり 減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないでください。(弊社までご相談ください。)

〈現象〉●踏台がスムーズに開閉できない。

点検する箇所	処置のしかた
ヒンジ(回転金具)部のゆるみや、大きなガタ ツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
開き止め金具(開き止め装置)の変形や取り付け部のゆるみ、ガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
ヒンジ(回転金具)や開き止め金具(開き止め 装置)がサビ付いていませんか。	サビ付いている場合は、回転部に注油してください。 機能がそこなわれるような、いちじるしいサビ付きがある場合は、使わないで廃棄してください。



)

製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

♪ルインコ株式会社

〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1

お客様相談室 1000120-302-669

10:00~16:00 ただし12:00~13:00及び土・日・祝を除く

※この取扱説明書は、軽金属製品協会が企画・制作したものです。無断転用を禁じます。